



新千歳空港国際線旅客ターミナルビル施設再整備について

新千歳空港国際線旅客ターミナルビルは2010年3月より供用を開始しておりますが、2016年度の国際線旅客数は272万人に達し、2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催され今後とも更なる需要が見込まれることから、国が進めている新千歳空港国際線ターミナル地域再編事業と協調し、施設再整備を行うことと致しましたので、お知らせ致します。

今後も刻々と変化する多様なニーズに適したサービスを提供すべく、すべてのお客様にご満足頂ける魅力ある空港づくりを目指してまいります。

1. 主な工事内容

- ・ 出発ロビー及び到着ロビー等の施設拡張
- ・ チェックインカウンター及び保安検査レーンの増設
- ・ テロ対策などのセキュリティ強化
- ・ 免税店等の商業施設の拡充
- ・ ターミナルビル附属ホテルの新設
- ・ 出国エリア及び入国エリアの施設機能強化（国の整備）

2. 事業費

約650億円 ※官庁エリア除く

3. 延床面積

ターミナル部分 約124,000㎡ ※官庁エリア含む

ホテル部分（4階から8階） 約20,500㎡

※既存ターミナル部分 地上4階建て 約61,000㎡（※官庁エリア含む）

4. フロア計画

階層	主な用途
1階	車寄せ・手荷物荷捌場
2階	到着ロビー等
3階	出発ロビー等
4階	ラウンジ・商業施設・ホテルフロント等
5～8階	ホテル客室

5. 施設概要

内 容	現施設	再整備後
チェックインカウンター	47ブース	74ブース
保安検査レーン	4レーン	9レーン
旅客搭乗橋 (PBB)	8基	17基 ・既存施設 3基 増設 ・増築施設 6基 新設
出発荷捌搬送設備	2基	5基
到着荷捌搬送設備	2基	5基

6. ホテル概要

- ・海外からの富裕層をターゲットにした高級ホテル
- ・温浴施設や高級レストラン、スパなどを併設
- ・スタンダードルームから最上級スイートまで、約180室の客室を計画

7. 供用開始時期

工事は2020年3月末までを予定しているが、工事が完了した部分より供用する。

- ・旅客取扱部供用開始 : 2019年8月
- ・ホテル部供用開始 : 2020年1月

8. 施工者 (建築・設備工事)

A工区 (旅客ターミナルビル増築、ホテル)

: 大林・戸田・萩原・伊藤・田中・菱中 特定建設工事共同企業体

※代表企業: ㈱大林組

B工区 (旅客ターミナルビル増築)

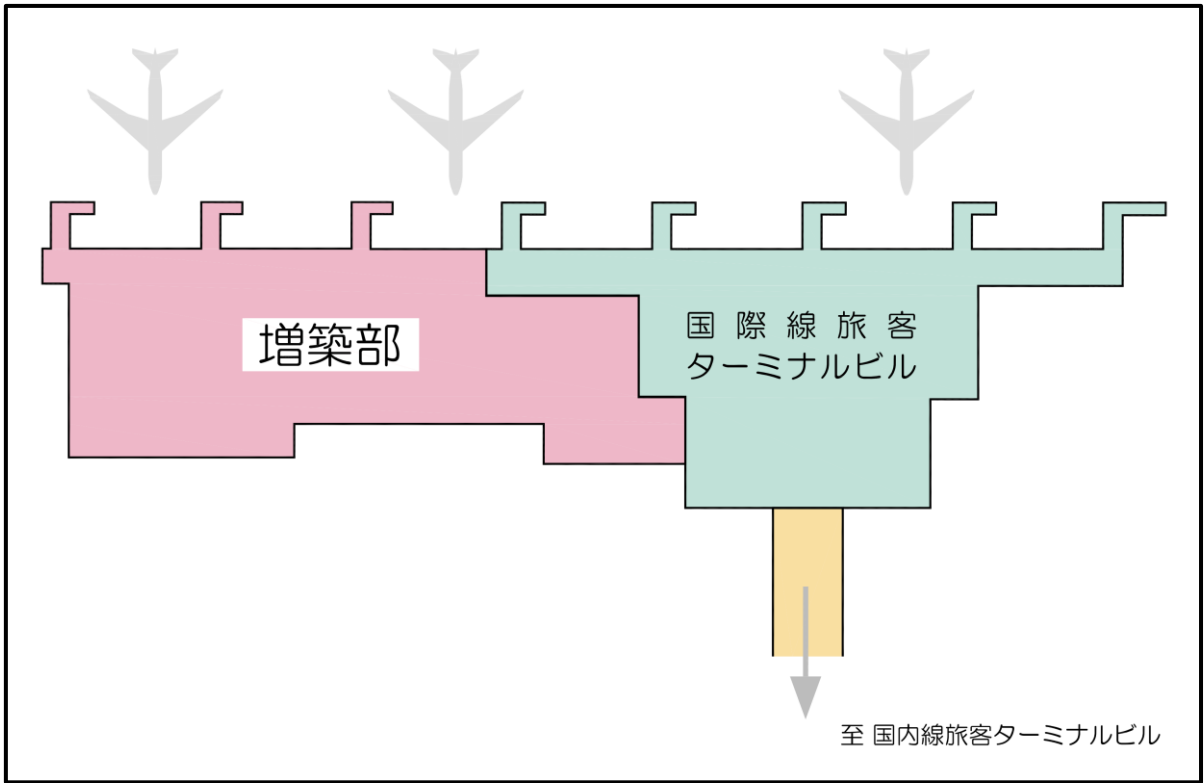
: 岩田地崎・JALファシリティーズ・阿部 特定建設工事共同企業体

※代表企業: 岩田地崎建設㈱

C工区 (既存旅客ターミナルビル改修を含む増築)

: 大成・宮坂・山崎 特定建設工事共同企業体

※代表企業: 大成建設㈱



国際線旅客ターミナルビル増築部



国際線旅客ターミナルビル増築部 チェックインロビー



国際線旅客ターミナルビル エプロンサイドからの増築部鳥瞰



国際線旅客ターミナルビル ランドサイドからの増築部鳥瞰

【問合せ先】

新千歳空港ターミナルビルディング株式会社 総務課 長谷川
(TEL) 0123-46-5100 (FAX) 0123-46-2800
mail : yoshichika.hasegawa@ncat.co.jp